

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
電子・電気科 電子工学コース											
スマート家電技術											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選2	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	小山 敬治			実務 経験	有	職種	コンサルタント（電子技術）				
授業概要											
スマートハウス、IoT、AIなどの技術を中心に、家電製品エンジニア、スマートマスターを目指します。											
到達目標											
住宅用電気設備やIoT、AIなど最新のスマート技術について基礎を学び、今後の方向性について理解をする。家電製品協会の資格、スマートマスターを取得を目標とする。											
授業方法											
AI、IoTネットワーク、スマート家電、省エネ、発電などエコ、スマート技術を学び、スマートマスタ取得を目指す。スマートマスターの検定試験の解説や考え方の解説やデモンストレーションを交えながら、AI、IoTなど最新のスマート技術を学ぶ。											
成績評価方法											
試験：80%試験を総合的に評価する。小テスト：10%授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点：10%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。											
教科書教材											
資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	エネルギーの見える化に関して理解する										
第2回	ZEH(ZeroEnergyHouse)に関して理解する										
第3回	太陽光発電システムを例に地球温暖化を低減するのに有効な創エネに関して理解する										

2023年度 日本工学院八王子専門学校

電子・電気科 電子工学コース

スマート家電技術

第4回	創エネ、蓄エネの連携運転、省エネに関して理解する
第5回	太陽光などのエネルギーを電気とする蓄エネに関して理解する
第6回	蓄電池の種類と特徴、燃料電池を理解する
第7回	スマート技術として、IoTとAIに関して詳細を理解する
第8回	家電のスマート化で重要なマイコンに関して詳細を理解する
第9回	スマートハウスの知識として、省エネ住宅・エコ住宅を理解する
第10回	インテリジェント化する家電製品を理解する
第11回	IoT化で重要なネットワークセキュリティに関して理解する
第12回	AIスピーカの基礎に関して理解する
第13回	AIスピーカの応用に関して、精神の技術動向を理解する
第14回	スマート家電技術に関して、幅広くまとめる